

改正薬機法に向けた 薬剤師のためのWebセミナー

～ **ゼロから学ぶ**臨床検査値を活かした処方鑑査と服薬指導～

日時

2020年**11月10**日(火) 19:00～19:40

座長

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

竹田 真理子 先生

演題

抗がん薬副作用モニタリング は血算を読むことから

演者

千葉大学医学部附属病院 薬剤部

関谷 美聡 先生

【抄録】

抗がん薬の最も注意すべき副作用である骨髄抑制は、好中球・ヘモグロビン・血小板等の検査値を大きく減少させ、感染症・貧血・出血のリスクを増大させます。高度の骨髄抑制は時に致死的になり得るため、副作用のモニタリングと、早期発見のための服薬指導が重要です。

例えば、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合錠の服薬指導を行う場合、好中球数が低下する時期は何に気を付けるように指導していますか？患者さんからふらつきの訴えがある場合、患者さんから何を聴取して医師にどのように情報提供していますか？実例をもとに解説します。

本講演会のご視聴を希望される際には、裏面の応募方法より申し込み下さい。
追って、視聴方法等の詳細をメールにてご案内をさせていただきます。
ご連絡を頂く、個人情報には本会運営の目的のみに使用させていただきます。

応募方法

ご視聴を希望される方は①～③のいずれかでお申し込み下さい。

①弊社担当MRまでご連絡下さい。

②kyosuke-akasaki@ds-pharma.co.jp（赤崎宛）へご施設名・御名前を記載の上、送信下さい。

メールアドレス⇒
QRコード



③下記申込書をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

追って、視聴方法等詳細をメールにてご案内致します

※ご連絡いただく「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます

期日：10月29日（木）までにご連絡お願い致します

応募申込書

①	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	
②	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	
③	御名前	
	ご施設名	
	E-mail	

申し込み先

大日本住友製薬株式会社 千葉支店 赤崎 恭介 行

FAX：043－211－8421

共催： 千葉大学医学部附属病院 / 大日本住友製薬株式会社